



「防災とボランティアの日」から学ぼう！

1995年1月17日午前5時46分、淡路島北端を震源とする阪神・淡路大震災が発生しました。この災害による人的被害は、死者6,434名、行方不明者3名、負傷者43,792名という戦後最悪の極めて深刻な被害をもたらしました。



阪神・淡路大震災では、政府や行政の対応の遅れが批判された一方で、学生を中心としたボランティア活動が活発化し、「日本のボランティア元年」と言われました。これをきっかけに、ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で、1995年12月の閣議で制定が決定され、翌1996年から1月17日が「防災とボランティアの日」と制定されました。

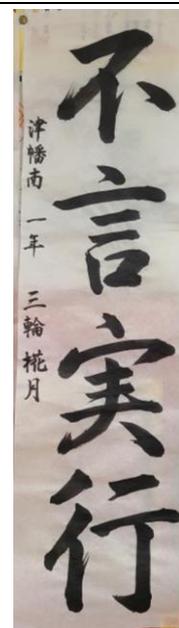
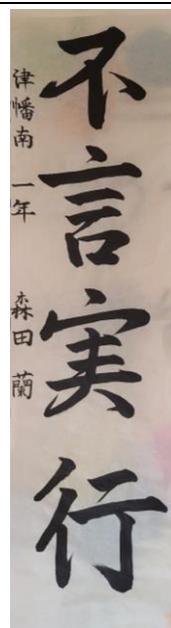
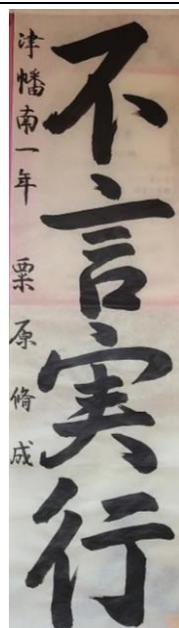
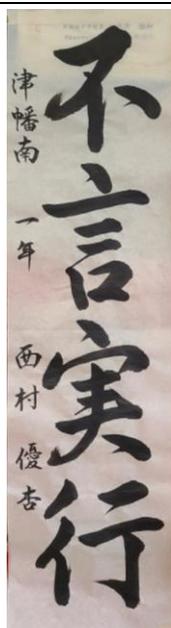
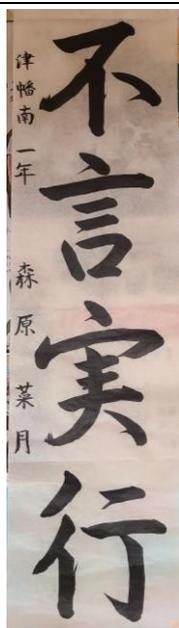


これをきっかけに、ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で、1995年12月の閣議で制定が決定され、翌1996年から1月17日が「防災とボランティアの日」と制定されました。

書き初めの審査結果です

1月10日（火）の放課後、各教室に掲示された「書き初め」の審査を行いました。どのクラスも素敵な書き初めが掲示されていました。結果は以下の通りでした。特に金賞の生徒は素晴らしいです。

	1組	2組	3組	4組	5組
金賞	森原 菜月	西村 優杏	栗原 脩成	森田 蘭	三輪 柊月
銀賞	河村 虹咲	長井 旺心	角 幸杏	高橋 あい	飯田 仁菜
	谷口ゆずの	西川 恵矢	英 篤玖	能登友里愛	谷川 瑞季
	水岡 初花				
銅賞	酒井 里緒	甲部 尚子	林 千尋	小林 千乃	加藤 真織
	高橋 駿	飛龍 心花	福島 沙胡	杉本明日香	加茂川香柚
	友部 来望	山口 なる	楨矢とな美	須田 喜香	西田 愛華



福井県永平寺中学校の無言清掃！！

津幡南中学校では、良き伝統として清掃時「無言清掃」を実施しています。目的は、以下の「3つの心」を養うことです。

- ① 自分たちが使用した場所や、今後使うであろう場所に、「感謝の心」を持って清掃する。
- ② 自分の清掃場所が終わってから、まだ汚れている所はないか、手伝って欲しい人がいないかと「気づきの心」を持って清掃する。
- ③ 友だちと話すこと、面倒だなと思うこと、同じことの繰り返しでいやになることを我慢する「我慢の心」を持って清掃する。



ただ、ここ最近の清掃の様子は、あまり良いものとは言えなくなりました。そこで、福井県の永平寺中学校の無言清掃の様子を参考にしてほしいものです。



黙 想 → 雑巾で縦ぶき → 雑巾で横ぶき → 黙 想

楽しかった百人一首大会！

1月10日（火）の3限目に「百人一首大会」が行われました。みんな、笑顔で楽しそうに取り組んでいました。講評では、「上の句で多くの生徒が札を取っていました。例年にないレベルの高さでした。すばらしい大会でした。」「3月7日には学級対抗球技大会があります。百人一首大会のようにすばらしい大会にしましょう。」と話がありました。私語も少なく、マナーのよい大会となりました。今後は、「働く人に学ぶ会」や「職場体験」等で、校外の人と接する機会があります。特にマナーは大切にしましょう。結果は、以下の通りでした。

団体の部

1位	2組	計491枚
2位	3組	計474枚

個人の部

1位	2組Fチーム	計85枚
2位	5組Iチーム	計64枚
3位	3組Fチーム	計62枚
4位	2組Gチーム	計61枚
5位	4組Bチーム	計58枚

